



池辺晋一郎

小林沙羅 ©NIPPON COLUMBIA

中野翔太 ©Yuuji

松永貴志

ラデク・パボラーク

アレシュ・パールタ

FOCUS

12.23 火・祝 クリスマス・プレゼント・コンサート 2014 (企画・司会：池辺晋一郎)
色とりどりにきらめく音楽のクリスマス・イルミネーション

文 篠田大基

早くも年の瀬ですね。クリスマスのご予定はお決まりでしょうか？ 水戸芸術館恒例の「クリスマス・プレゼント・コンサート」は、昨年に続いて池辺晋一郎さんの企画と司会でお贈りいたします。水戸市出身で日本を代表する作曲家の一人である池辺さんが、茨城を拠点に多くの方に親しまれている演奏家や、世界的に活躍する注目の演奏家とともに、聖夜のコンサートを作り上げます。豪華で楽しくて、あたたかな気持ちになれる一夜をお過ごしください。

コンサートは、チャイコフスキーが12カ月の風物をピアノで綴った組曲《四季》のうちの冬の曲で幕が開けます。演奏は、つくば出身のピアニスト・中野翔太さん。チャイコフスキーといえば、池辺さんが雑誌『音楽の友』で連載していた「チャイコフスキーの音符たち」が今年、単行本になりました。作曲家の目から見たチャイコフスキーの魅力とは？ 池辺さんの軽妙なトークが楽しみです。チャイコフスキーに続いては、今年発売された中野さんのCD所収の2曲が演奏されます。特にご注目いただきたいのが、スティーヴィー・ワンダーがマイケル・ジャクソンに提供した「I can't help it」。クールなバラードが中野さんの編曲でラヴェルの世界にも通じるような一

味違った作品に生まれ変わります。

続いての登場は、ウィーン在住でヨーロッパや日本の歌劇場で活躍しているソプラノ歌手の小林沙羅さん。ピアニストの森島英子さんとのコンビで、クリスマスに因んだ歌に加えて花に因んだ歌（同じく今年発売されたお二人のCD『花のしらべ』に収録）が披露されます。さらに小林さんは、オペラ・アリアの名曲も歌ってくださることになりました。プッチーニ《ラ・ボエーム》より〈私が街を行けば〉、グノー《ロメオとジュリエット》より〈私は夢に生きたい〉（今年3月に開催した森麻季さんの「ちょっとお昼にクラシック」でお聴きになった方も多いことでしょう）。可憐な歌声をご堪能ください。

さて、コンサートの後半は雰囲気を変えて合唱のステージから。池辺さんが金子みすゞの詩に曲を付けた合唱曲集《いのちと、こころと……》を、水戸で活動する「あひる会合唱団」が歌い上げます。この曲集は、昨年、池辺さんが講師を務めた「合唱セミナー」の講習曲でしたので、セミナーで歌った経験のある方もいらっしゃるかと思います。小さいのちを慈しむ金子みすゞの眼差しは、せわしない年末に忘れてしまいそうな「優しさ」を私たちに感じさせ、その気持ちを取り戻させてくれるのではないのでしょうか。

コンサートの最後は、さらに雰囲気を改めてジャズをどうぞ。ジャズ・ピアニストの松永貴志さんといえば、テレビ朝日「報道ステーション」の前テーマ曲〈オープン・マインド〉（2004～11年放送）など、ファンキーで印象的なフレーズを生み出すメロディ・メイカー。今回演奏される〈forever〉（フジテレビ「スーパーニュース」テーマ曲）も、聴けばきっと「ああ、あの曲!」と思っていただけのはず。松永さんのアドリブ演奏にも乞うご期待です。さらに今回はスペシャル・コラボレーションとして、中野翔太さんと松永貴志さんが2台ピアノのアンサンブルで、ミヨウの〈スカラムーシュ〉をお届けします。ノリの良い音楽で盛り上がりましょう!

クリスマス・プレゼント・コンサート
2014

12/23 火・祝 16:30 開場
17:00 開演

会場 水戸芸術館コンサートホール ATM

全席指定 一般 3,500円

ユース (25才以下) 1,000円

企画・司会 池辺晋一郎

出演 小林沙羅 (ソプラノ)、

中野翔太、松永貴志、森島英子、田中直子 (ピアノ)、あひる会合唱団

☆開場前と終演後にエントランスホールでミニコンサートを開催します (出演：冨田真希 (オルガン)、あひる会合唱団、M響ブラックマイスター (金管アンサンブル))

12.8 月 ラデク・バボラーク & アレシュ・パールタ デュオ・リサイタル

聖夜に捧げるクリスマス・プログラム

文 中村 晃

驚異の天才ホルン奏者として、世界中の聴衆を魅了し続けているラデク・バボラーク。水戸のお客様の中には、水戸室内管弦楽団のメンバーとしての活動などから、その妙技や化け物ぶり!? は、よくご存知の方も大勢いらっしゃると思います。そんなバボラークが、是非、水戸の皆様にもお聴きいただきたいと企画したのが、同郷チェコを代表するオルガニストのアレシュ・パールタとのデュオ・リサイタルです。バボラークのこの上ない繊細で優美なホルンが、神に仕える楽器として発展を遂げてきたパイプオルガンと融合して、天空の音楽を奏でます。バボラークとパールタが、皆様に一足早いクリスマスの贈り物をお届けします。

ホルンとオルガンで紡ぐクリスマス・プログラム

チラシ等では、すべてをお伝えできなかったプログラムが決まりました。まずは、オルガン音楽の聖典とも言えるJ.S. バッハの作品から、オルガン音楽と言えば誰もが思い浮かべる〈トッカータとフーガ 二短調〉BWV565がオルガン・ソロで、そしてコラール〈目覚めよ、と呼ぶ声あり〉BWV645がデュオで演奏されます。続いて、オルガン・ソロで、リストが、J.S. バッハに寄せたオマージュ作品〈バッハの名による前奏曲とフーガ〉S.260。そして、前半の最後は、ブルックナーの〈交響曲 第7番 ホ長調〉

から第2楽章が、バボラーク & パールタと同郷チェコの現代作曲家ミロシュ・ボクによるホルンとオルガンのための編曲版で演奏されます。この第2楽章は、ブルックナーが敬愛するワーグナーの病氣と死を契機に創作されており、終結部では「巨匠のための葬送の音楽」として、ホルンが痛切なメロディを奏で、冥福を祈るかのように静かに終わります。

休憩を挟んで後半は、前出のミロシュ・ボクの2作品が最初と最後を飾ります（これらボク作品については、次の項であらためてご紹介します）。さらにプログラムは、彼らならではの選曲が続き、同じチェコの大作曲家ヤナーチェクが教会スラヴ語のミサ典礼文に作曲した〈グラゴル・ミサ〉の中のオルガン・ソロ曲が演奏されます。また、サン＝サーンスが、ホルンとオルガンのために書いた〈アンダンテ〉も取り上げられます。

魂の作曲家ミロシュ・ボク

今回のプログラムで、あまり馴染みのない作曲家がミロシュ・ボク（1968～）です。事実、チェコの国内でも、知る人ぞ知るという存在のようです。ところが、このボクの音楽に心酔し、献身的ともいえるほど精力的に演奏をしているのが、他ならぬバボラークなのです。かつてバボラークはインタビューの中で次の様に語っています。「プラハの郊外の田舎で、音楽の先生をしながら宗教音楽ばかりを書いている人でね、素晴らしいんだよ。この間も演奏会があったから僕はボランティアで参加したし、録音にももちろん加えさせてもらったよ。チェコにはそういう演奏仲間が結構いて、ボクのためには一肌ぬぐという人間は多いんだ」（CD『ミロシュ・ボク：クレド（カメラータ CMCD-28254）』ライナーノーツより）。そして、バボラークからボクの存在を知った音楽評論家の諸石幸生氏もその音楽に魅了され、次のように評しています。「それは敬虔な宗教音楽であ

ると同時に、人間のための音楽としての強い信頼感と信念を背景とする豊かな生命力にあふれており、大いに感動させられた。・・・文字どおり時代を超え、民族を超え、世代を超えて、耳を傾ける者すべての心と魂に語りかける、そんな無垢なる美しさと優しさにあふれているように思われてならない。」（前掲書）。

コンサートでは、今回のバボラーク & パールタの日本公演のために、ボクが新しく作曲した〈ホルンとオルガンのためのマニフィカト〉、そして庶民的な歌から芸術的な歌まで、様々な国で歌われている数多くのクリスマス曲が登場する〈夢見るクリスマス・キャロル〉が紹介されます。どうぞご期待ください。



ラデク・バボラーク

ラデク・バボラーク & アレシュ・パールタ デュオ・リサイタル

12/8月 18:30 開場
19:00 開演

※当日は休館日ですが16:30に開館します。

会場 水戸芸術館エントランスホール
全席指定 A席 3,000円 B席 2,000円
ユース（25才以下）1,000円

出演 ラデク・バボラーク（ホルン）
アレシュ・パールタ（オルガン）

曲目

J.S. バッハ：トッカータとフーガ 二短調 BWV565
J.S. バッハ：コラール〈目覚めよ、と呼ぶ声あり〉
BWV645

リスト：バッハの名による前奏曲とフーガ S.620
ブルックナー（ボク編曲）：交響曲 第7番 ホ長調より
第2楽章 アダージョ

ボク：ホルンとオルガンのためのマニフィカト
ヤナーチェク：〈グラゴル・ミサ〉より オルガン・ソロ
サン＝サーンス：ホルンとオルガンのためのアンダンテ
ボク：夢見るクリスマス・キャロル



アレシュ・パールタ

12.14 日 水戸の街に響け！ 300 人の《第九》2014

師走の街に高らかに鳴り響く “歓喜の歌”

文 関根哲也

今年で 14 回目を迎える 300 人の《第九》。おかげさまで、すっかり地域に定着し、師走の水戸の風物詩となりました。コーラス参加者は毎年 300 人を超え、公演のご来場者も毎回 1000～1500 人を数えています。寒い 12 月の野外イベントに、これほどたくさんの関心が集まり、これほど長く続いていることに、深い感慨を覚えます。

今年も 9 月からコーラスの練習が始まりました。コーラス参加者の方々は、まだ暑い最中から難しい音符とドイツ語に四苦八苦し、10 月～11 月の秋になると、

練習の積み重ねによって、徐々に音楽と言葉が体にしみこんできて、12 月には寒空の下で思う存分声を出し、確信をもって歌う、というプロセスをたどりま。それは、ベートーヴェンが《第九交響曲》の作曲においてもテーマとしていた、“苦悩を通じて歓喜にいたる”というプロセスとも通じ合うものがあります。コーラス参加者の皆さんは、4 か月間にわたる厳しい練習を積み重ね、大いなる実感をもって“歓喜の歌”を歌うことができるのです。そして、一朝一夕には成し得ないその厚みのある歌声こそが、聴く者を

魅了してやまないのでしょう。

年の瀬のお忙しい時期かとは思いますが、ぜひ水戸芸術館広場で 300 人のコーラスの圧巻の響きをお楽しみください。最後には、「晴れたる青空～」で有名な一節を会場の皆様と一緒に歌うコーナーもごぞいます。

水戸の街に響け！
300 人の《第九》2014

12/14 日 12:00 開演
13:30 開演

会場 水戸芸術館 広場
(悪天候の場合、コンサートホール ATM)
入場無料

2014.10.4-5

水戸室内管弦楽団 第91回定期演奏会

2014.10.3

水戸室内管弦楽団 子どものための音楽会

75 歳にして今なお世界最高のオーボエ奏者であり、世界各地の楽団と聴衆を魅了する指揮者でもあるハインツ・ホリガーが、第 85 回定期演奏会以来 2 年ぶりに水戸室内管弦楽団 (MCO) に帰ってきた。音楽への情熱は衰えることを知らず、むしろ 2 年前にも増して燃えたざり、連日熱気を帯びたりハーサルが繰り返された。ティンパニのローランド・アルトマンの名人芸も光ったハイドン (太鼓連打) 交響曲の後、スイスのハーブ奏者シャントル・マテューとホリガー自身のソロによるルトスワフスキ (オーボエとハーブのための二重協奏曲)。初演以来 50 回以上も演奏しているというホリガーの音楽づくりは、強い説得力を持っていた。最後はソリスト集団でもある MCO の実力が遺憾なく発揮されたドビュッシーの〈おもちゃ箱〉。若手落語家、柳家花緑の語りも見事にマッチし、大好評だった。

10 月 3 日には茨城県武道館で「子どものための音楽会」を開催。水戸市内の小学 5 年生を中心に約 2800 名の生徒たちが、ドビュッシーの〈おもちゃ箱〉を鑑賞した。《関根》

アンケートから ■〈おもちゃ箱〉は最高の演奏だった。何年か前の〈マ・メール・ロワ〉の名演を思い出した。繊細できれいな響きで、ドビュッシーが作り上げた世界を最高レベルで再現した。Braviii! (松本市: A.O. さん) ■ひきこまれる演奏にただただ幸せでした。初めての水戸芸術館、こんな近くで一流の音にふれ、明日も聴こうと思いました。(静岡県の方) ■〈おもちゃ箱〉は、花緑さんとのコラボがとても面白かった。とても夢中になりました。(水戸市の方) ■趣向がいつもと違っておもしろかった。見る側もそうですが、オーケストラの方々も楽しそうに見えて、一体感

がありました。(水戸市: N.I. さん)

2014.10.11

茨城の名手・名歌手たち 第 24 回

4 月のオーディションで合格した茨城ゆかりの演奏家たちが一堂に会したコンサート。みずみずしい演奏の数々に、客席から盛大な拍手と「ブラボー」の歓声が贈られました。司会は、昨年に続きオーディション審査委員長を務めた池辺晋一郎さん。出演は、関美矢子さん (オーボエ)、上野耕平さん (サクソフォン)、石崎育美さん、柿長飛鳥さん、瀧本真己さん (以上ソプラノ)、Clair (オーボエ、ファゴット、ピアノ)、Esprit Libre ensemble (打楽器三重奏)、Le Simpatiche、aile d'ore (以上 2 台ピアノ) でした。ご出演の皆様のご活躍をお祈りいたします。ご来場の皆様、水戸芸術館からはばたく「名手・名歌手たち」に今後も変わらぬご声援をよろしく願います! 《篠田》

2014.10.24

ミシェル・ブヴァール
オルガン・リサイタル

フランスを代表するオルガニスト、ミシェル・ブヴァールの演奏会は、ドイツとフランスの 16～20 世紀の作品が一夜にして披露される、巨匠ならではの内容であった。多彩な音色を音の魔術師のように自由に操り、オルガン音楽の豊かさを味わわせる演奏はまさに圧巻! 康子夫人とは、お二人の音楽への愛が感じられる連弾で会場を盛り上げた。アンコールは連弾でクーラン作曲 (選りぬぎのミュゼット) (居酒屋のミュゼット)、ソロで J. ブヴァール作曲 (Vieux Noël français)。《高楽》

アンケートから ■奏者の精神と肉体がオルガンにつながっていると、今日ほど感じたことはありません。(無記名の方) ■パイプオルガンの生音は初めて聞きましたが、考えていたよりずっと豊かな音があって感動し、また圧倒された。(牛久市の方)

最近の公演から



1-2: 水戸室内管弦楽団 第 91 回定期演奏会
3: 茨城の名手・名歌手たち 第 24 回
4: ミシェル・ブヴァール オルガン・リサイタル

チケット・インフォメーション

《11月29日(土) 発売分》

■水戸室内管弦楽団 第92回定期演奏会(第2部指揮:小澤征爾)

1/16(金) 19:00開演、1/18(日) 14:00開演

料金 [全席指定] S席 ¥15,000 / A席 ¥12,500 / B席 ¥10,000

※水戸室内管弦楽団第92回定期演奏会には、11/24(月・祝)より財団運営維持会員、11/26(水)より友の会(一般、法人)会員の先行電話予約がありますので、11/29(土)の一般発売の時点で、公演日や券種によってはお客様のご希望に添えない場合があります。予めご了承ください。

※発売初日に芸術館でお求めになれるチケットは、水戸室内管弦楽団第92回定期演奏会では、お1人様1回につき2枚までとさせていただきます。

《11月30日(日) 発売分》

■合唱セミナー 2015(講師:松下耕)

2/1(日) 10:00開始(16:00終了予定)

料金 [全席自由] 一般 ¥1,000 / 高校生 ¥500 / 中学生以下 ¥300

■ネクサス・プラスバンド

2/8(日) 14:00開演

料金 [全席自由] 一般 ¥700(当日 ¥1,000) / 高校生以下 ¥500(当日 ¥700)

■茨城笛の会

3/1(日) 14:00開演

料金 [全席自由] 一般 ¥1,800(当日 ¥2,000) / 高校生以下 ¥500

これからの演奏会・残席情報

○…残席あり(20席以上) △…残席わずか(20席未満) ×…残席なし
中央…中央ブロック 左右…裏…左右ブロックおよびステージ裏 補助…補助席

◎宇野陽子 チェロ・リサイタル……………11/16(日) 自由席○

◎ちょっとお昼にクラシック 池上英樹(マリンバ、打楽器)

……………11/24(月・祝) 中央△、左右○

◎山本徹 バロックチェロ・リサイタル……………11/30(日) 自由席○

◎ラテック・パボラーク&アレシユ・パールタ デュオ・リサイタル

……………12/8(月) 1F△、2F△

◎クリスマス・プレゼント・コンサート 2014

……………12/23(火・祝) 中央△、左右○

◎コール・ヴィステリー 10周年記念演奏会……………2/15(日) 自由席○

◎谷田部ひさみ ピアノ・リサイタル……………2/22(日) 自由席○

◎ちょっとお昼にクラシック 松波恵子(チェロ)と素敵な仲間たち

……………2/27(金) 中央○、左右○

※11/5(水)現在の状況です。

※固定席が売り切れ次第、補助席を販売いたします。

エントランスホール

■ラテック・パボラーク&アレシユ・パールタ デュオ・リサイタル

12/8(月) 19:00開演 ※当日は休館日ですが16:30に開館します。

料金 [全席指定] A席 ¥3,000 / B席 ¥2,000 / ユース(25歳以下) ¥1,000

■パイプオルガン プロムナード・コンサート 入場無料

□12/13(土) 原田真侑 11:00~(30分程度)

□12/20(土)《クリスマス・スペシャル》

山田由希子、藤原望(ヴァイオリン) 13:30~(45分程度)

ACM劇場

■『スワン』 出演:一路真輝、細貝圭、大澄賢也

12/13(土) 13:00 / 17:30開演、12/14(日) 15:00開演

料金 [全席指定] S席 ¥5,500 / A席 ¥5,000 / B席 ¥3,500

現代美術ギャラリー

■チョン・ヨンドウ 地上の道のように

11/8(土)~2015年2/1(日) 9:30~18:00 ※入場は17:30まで

[休館日] 月曜日、年末年始 12/27(土)~1/3(土)

※ただし11/24(月・祝)、2015年1/12(月・祝)は開館、

11/25(火)、1/13(火)は休館

[入場料] 一般 ¥800 / 前売り・団体(20名以上) ¥600

※中学生以下・65歳以上・障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名は無料

■クリテリウム89 GABOMI ※料金は展覧会の入場料に含まれます。

茨城の主な12月の演奏会

■佐川文庫 TEL / 029(309)5020

・今飯田百那 ピアノ・リサイタル 12/13(土) 18:00開演

■ノバホール TEL / 029(852)5881

・スロヴァキア国立放送交響楽団 12/13(土) 14:00開演

■石岡市民会館 TEL / 0299(22)5187

・青島広志のおしゃべりコンサート「青い鳥はどこにいる?」

12/6(土) 14:00開演

■坂東市民音楽ホール TEL / 0297(36)1100

・シエナ・フォレスト 木管五重奏 12/6(土) 14:00開演

水戸芸術館の主な12月のスケジュール

コンサートホール ATM

■水戸の街に響け! 300人の《第九》2014

12/14(日) 1回目 12:00開演 / 2回目 13:30開演

入場無料 [会場:広場] ※雨天時はコンサートホール ATM

■クリスマス・プレゼント・コンサート 2014

12/23(火・祝) 17:00開演

料金 [全席指定] 一般 ¥3,500 / ユース(25歳以下) ¥1,000

チケットに関するお問い合わせ

水戸芸術館チケット予約センター TEL 029-231-8000

営業時間: 9:30~18:00(月曜休館)

公演内容や企画に関するお問い合わせ

水戸芸術館音楽部門 TEL 029-227-8118

ホームページ <http://arttowermito.or.jp/>

公式ブログ <http://concerthallatm.blog101.fc2.com/>

ATM 便り 毎月1回茨城新聞に不定期登場

twitter @ConcertHall_ATM

編集後記

電車で寝過ごしたのは、人生で4度目です。今回、悪かったのは、家に帰れる終電が終わっていたこと。一駅分歩こうかとも考えましたが…やむを得ず、呼んだタクシー代は2,260円也。一気に眠気が覚めました。(り)

まだまだ夏の気分が抜けないのですが、いざ外に出るとすっかり冬の空気。時の流れについていけない割に、クリスマスケーキの予約案内を見ながら、どれにしようかとしっかり考えている。なんとも不思議な気分です。(稲)

クリスマス・プレゼント・コンサートの記事を書きながら、今年1年を振り返っていました。いろんなことがあったなあ。2.3年くらい経った感じ。しみじみ。あれ? えーと、それって急速に老けてきたっていうこと? (篠)

「諸君、帽子を取りたまえ。天才だ」と評したショパンがあり、その若き才能をミネルヴァの出現に例えたブラームスがあり、そして何より新ダヴィッド同盟の公演があり。シューマンの精神を深くかみしめた美しい秋。(て)

夜練習後に、私がオルガン演奏台へ近づくと「ちょっとそこにいて」と仰ったブヴァールさん。すると、楽しみに夫人と一曲弾いてくださった。「It's for you!」という言葉と笑顔を添えて。鞀に振舞える大人に憧れる。(樹)

「そこのババール」公演で、高橋アキさんのピアノ演奏と共に、美しい日本語の発音、絶妙の間合いで、ババールの物語を朗読して下さってきた長野羊奈子さんが、永眠された。あの優しい語り口が思い出される。(中)

水戸芸術館音楽紙 [ヴィーヴォ]

2014年12月発行 第193号

編集発行: 水戸芸術館音楽部門

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8

TEL 029-227-8118 FAX 029-227-8130

E-MAIL ankmr@arttowermito.or.jp

URL <http://arttowermito.or.jp/>

編集: 水戸芸術館音楽部門(五十音順) / 石井亮子

稲田枝里子 篠田大基 関根哲也 高巢真樹 中村晃

デザイン: 藤澤純子

印刷所: 山三印刷株式会社